



一般社団法人
日本胡麻協会
Japan Sesame Association

広げよう
ごま
で
幸
せ
づ
く
り

日本胡麻協会 会報

【第15号 2016年12月1日発行】

〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318



株)クリーンダストマン
溝口幹浩

刈谷ハイウェイオアシスでの胡麻くれえぷ堂の飲食業に携わり、お客様からくれえぷを買って頂けているだけではなく、これからも、胡麻の効能や胡麻に対する関心を持って頂く様に胡麻マイスターならではの知識や説明にも精進していく心構えで仕事に励んでいきファーストフードであっても体に良い商品を提供していきたいです。

株式会社 寺子屋
ごま福堂(函館店) 伊藤 馨

セサミマイスターの皆様、はじめまして。

弊社、ごま福堂函館店で、勤務致しております。

セサミマイスターに加えて頂き、月日は早い物で3年が立ちました。

雪の残る函館で、来函したばかりの私はその当時の事を今でも覚えております。

「胡麻のお店出すから。」「胡麻？」来たばかり過ぎてインパクト大でした。

今では日本胡麻協会様協力の下、弊社も10店舗を越す展開となっております。

ただ当時は系列店舗も1店舗しか無く、全て手探りでした。

そんな状況の中で、深堀社長・石田先生にお会いし、胡麻について色々と教えて頂いたのが、函館店の始まりでした。

「胡麻は繋げてくれる」本当にその通りでした。

当時店舗が少なかった事もあり、色んな方と出会うきっかけを与えてくれ、従業員やお客様と多くの方と携わることが出来ました。お客様は北海道中心に東北・海外の方も常連さんでお越し頂いております。本当に感謝です。

また胡麻が改めて色々と気づかせてくれました。

胡麻は1つ1つでは小さな種ですが、それでもパワーがあり、沢山の量が集まれば、もっと凄いパワーになる様に、私自身も1つ1つの出会いを大事にして行くことによって、何かに繋がると言うのを改めて気づかせて頂きました。お客様に喜びと感動が生まれれば、自分の為になり、また新たな発見や挑戦が出来ると言うことを感謝し、日々精進しながら、1度無になり大きく深呼吸して、愛情を持って美味しい胡麻を搗いていきたいと思えます

特定非営利活動法人ロンの家福祉会

米納 憲

皆さんはじめまして、平成27年5月にセサミマイスターの一員となりました、米納 憲（よねのう けん）と申します。よろしくお願いします。私は、千葉県船橋市でNPO法人ロンの家福祉会で知的障がい児者の余暇活動の支援をしています。分かりやすく言うと、ご利用者（知的障がい児者）が学校、作業所等が終わった後や休みの時に、ストレス発散？させるために安全に一緒に過ごす仕事をしています（笑）

そんなある日の事、ロンの家でも地域活動支援センターを始める、と言われました。つまり、知的障がい者の作業場を始めるのです。正直「そうなんだ」程度の気持ちでしたが「これを作って売るのが！」と見せられた、彩シリーズに私はビビッときました。更にリーフレットには「胡麻は料理のジュエリー」の言葉に「これは使える！」と思いました。

私は人を喜ばせる事が好きで何かあるとプレゼントしていました。そうです、最初のゴマとの出会いはお客としてでした。化粧箱に入ったゴマは高級なふりかけ？と多くの人に喜んでもらいました。すると今度は、5月にセサミマイスターの講習会、認定試験がここロンの家で行うので受けてみない？と誘われました。もちろん、二つ返事で「受けます！」と答えました。無事認定試験に合格し「セサミマイスター」の称号を手に入れました。しかし、その時はゴマが生活の一部となるとは思いませんでした。

私の職場と地域活動センターである場所は離れています。週に何度か用事で行く程度でしたが「資格取ったんだから忘れないうちにゴマついてみれば？」と声掛けられ、それもそうだと、思いゴマをついてみたのです。そうしたらも

う楽しくて（笑）ゴマの形状が変わり香りが広がると私自身が幸せな気持ちになります。今では週 1 回 2 時間はゴマをつく生活が始まりました。

今年はリオデジャネイロオリンピック、パラリンピックの年でした。私は趣味でトリアスロンをしていてクラブに所属しているのですが、何と我がクラブから 3 名のオリンピックが誕生したのでした。上田藍選手、加藤友里恵選手、秦由加子選手です。もちろんこんなチャンスめったにないので、激励の思いを込めて金箔入りのゴマ油をプレゼントしました。なかでも上田藍選手は、前回ロンドン大会のリベンジから次こそメダル、と思い感謝日記をつけていました。これは、リオで金メダルを取った事をイメージして、メダルを取る為に何が必要なのか自問自答して日々感謝するという物らしいです。その甲斐あってか今年ワールドカップシリーズで総合 3 位につけていました。遠征、合宿で忙しい選手達とはなかなか会えないのですが、上田選手には偶然手渡しできました。とても喜んでくれて「開けてもいいですか？」と言いながら大胆に包装紙を破りました。実はラッピングもプロに包んでもらった・・・なんて言えませんでした（笑）金箔入りのゴマ油を見ると、その場でシェイクし（琥珀色のゴマ油が濁りました）「今日から飲みます！」と言ってくれました。結果は残念ながら上田藍選手、久々の失敗レースで 39 位、加藤友里恵選手 46 位と揮いませんでしたが、パラリンピックで秦由加子選手が 6 位入賞と頑張ってくれました。

私もゴマでオリンピックに参加した気分でショックが大きかったです（笑）2020 年東京オリンピック、パラリンピックまでに選手同様、ゴマつきの腕をあげリベンジしたいと思います。今から楽しみです。

お客様に楽しい旅の思い出を

(株) 寺子屋
ごま福堂 草津店
朝日 俊光

私は、「草津よいとこ、一度はおいで」の草津節でも有名な、群馬県草津温泉で勤務しております。日本三名泉にも入る山奥の草津の地には、1年間を通して日本全国、世界各地から、お客様が湯治や観光に来られます。そんな多くの方と触れあうことができる草津の地に、ごま福堂が開店して約1年半になります。まだまだ自分自身は至らぬ所ばかりですが、スタッフさんの協力を得て、今まで無我夢中で仕事に取り組んで参りました。開店してから月日が経つにつれて、一人、また一人と、「草津に来たら必ず胡麻のお店に。」というお声を頂戴することが増えてきたように感じます。そのお声を聞くたびに、何ともいえない嬉しい気持ちになり、また頑張ろうと思います。今回はそのお声中でも、特に私の気持ちの支えとなっているO君との出会いをご紹介しますと思います。

昨年8月のお盆休みの始まりに、無事当店は開店することが出来ました。しかし、深堀先生の講習は受けていたものの、実際、食品部門は初めてだった私の胸の内は不安しかありませんでした。もやもやした理由は色々ありましたが、中でも一番不安だったことは「果たして自分の搗いた胡麻が美味しいと思ってもらえるのか。」ということでした。悩んでも仕方が無いので、とにかく前向きにやろうと思い立ち、胡麻を搗いて2日目くらい経った日のことです。一人の少年が「良い香りがする〜！」と、満面の笑みで私の実演をかじりつくように見てくれました。それが当時小学2年生だったO君でした。話を伺うと、草津にご両親の実家があり、帰省で遊びに来ているとのこと。それから東京に帰る日まで、毎日お店に足を運び、元気な挨拶をして私の胡麻を美味しい美味しいと食べてくれました。その年の冬、そして今年の夏も、真っ先にお店に顔を見せに来てくれました。その際、自分の近況や、学校で胡麻のことを先生に話したことなどを楽しそうに聞かせてくれました。O君の笑顔が、不安だった私の心を自信とやる気で満たしてくれました。

弊社の経営理念には「お客様の楽しい思い出づくりと、満足を追求する」という一節がございます。入社以来、様々な商品を販売して参りましたが、その中でも、胡麻はお客様の喜びを肌で感じる事が出来ると実感しております。自分が製造者としてお客様に美味しい胡麻を提供し、食卓に笑顔の花を咲かせることが私自身の仕事のやりがいにも繋がっております。今後も、一回、一回を真剣に、傲ることなく、おいしい胡麻を搗いていきたいと思っております。

小林徹也

皆さま、はじめまして。

阪急百貨店うめだ本店のヘルシーフードフェア担当の「子泣き爺」こと
小林徹也と申します。

似てますかあ？



2か月に1度あるこのヘルシーフードフェアは皆さまご存知だと思いますが、
長蛇の列ができる大イベントです。

そのフェアで毎回楽しく学ばせていただきながら、金胡麻をつかせていただ
いております。

お客様に喜んでいただけるよう、心を込めてついでいても初日は2か月間の心
の垢が

胡麻に出て、香りがたたずエグミが出ます。まだまだ精進が足りないことを気
付かせてくれる胡麻ってすごいなって思いますし、その胡麻で世界平和を目指
し、着実に1歩ずつ進んでいる深堀社長はもっとすごいなと思います。(ゴマす
り?)

この期間中は深堀社長にいじられっぱなしでたまに「イラッ！」っとくるとき
もありながら

心地よい疲れを味わっております。(最近は石田先生にいじられることも…)

深堀社長をはじめ、皆様とのご縁に、そしてお客様に、命の元である胡麻に感
謝して

12月のヘルシーフードフェアも楽しく頑張らせていただきますー

皆様、今後ともよろしく願いいたします。